

インタビュー 家族に迎えて

センターから譲渡されたニャンコその後、どうしていますか？

4頭の保護猫を迎えて 毎日が楽しくなりました！

京都市南区 中尾 様

きなこ、おはぎ、あんこ、みたらしと計4頭を引き取られた中尾さん御一家。最初に迎えたきなこは臆病で、家族になれるまで少し時間がかかりましたが、きなこ以外の3頭はすぐに家族に馴染み、きなこを含めて猫同士も仲良く暮らしてくれています。

中尾さんは、センターから猫を迎えてからの御家庭の変化について「一緒



▲娘さんときなこ



▲あんこみたらし



▲4匹仲良く食事中

に遊んだり話しかけたりすることで、猫をととして自然と家族間でコミュニケーションが生まれ、家の中が明るくなり、それも猫達が来てくれたおかげ。」と話してくださいました。

また、複数の保護猫との暮らしについては「家族以外の人にもすぐに懐く猫もいれば、知らない人を見たらすぐに隠れてしまう猫もいます。そう

いった猫ごとの性格の違いを見つけるのが楽しく、個性がかわいらしいです。」と話してくださいました。

今ではすっかり猫中心の生活になった中尾さん御一家。将来的にはさらに1頭迎え入れることを御希望されており、さらに家族が増える日が待ち遠しいですね。(福田)

犬猫の飼い主さん募集

～新しい飼い主さんになっていただけませんか？～

センターでは、引き取った犬猫のうち、適性があると判断した犬猫を希望者に譲渡する制度があります。

犬や猫の譲渡を希望される方は、是非センターまでお問合せください。

ただし、犬や猫の譲渡には、以下の条件がありますので、あらかじめ御了承ください。

譲渡できる方の主な条件（詳細は、センターへ御確認ください。）

- ・京都府にお住まいの成人で、譲渡希望者自身が飼い主となること。
- ・ペットの飼養が制限されていない住宅にお住まいであること。
- ・飼い主として責任を持ち、家族の同意を得て、家庭で犬や猫を適正に終生飼養できること。 など

ぼくたちと暮らしませんか？

※既に譲渡先が決定している場合があります。



◀譲渡犬・譲渡猫の詳しい情報は
こちらから

毎月
第2土曜日
13時～15時

犬の譲渡会
(保護犬見学会)

を開催しています



きなこ 1歳 オス 20kg



コン 1歳 メス 16kg



ニコ 9カ月 オス 12kg



ラテ 6カ月 メス 12kg

京都動物愛護センターへのアクセス

- 近鉄十条駅から徒歩5分
 - 京都市営地下鉄烏丸線 十条駅から徒歩15分
 - 京都市営バス 十条大宮停留所から徒歩5分
- ※無料駐車場はありません。

〒601-8103 京都市南区上鳥羽仏現寺町11番地
TEL: 075-671-0336 FAX: 075-671-0338
開所時間：午前9時～午後5時
休所日：木曜日（祝日の場合は翌平日）
年末年始



京都動物愛護センターマスコットキャラクター
LINEスタンプ第2弾発売中



本紙は「京都市動物愛護事業推進基金（人と動物が共生できるまちづくり基金）」からも出資しています。動物愛護推進基金に寄附していただいた方のうち、希望者はホームページに公開しており、ふるさと納税の適用も可能です。なお、寄附の方法についても、こちらのホームページで御覧いただけます。

→<https://kyoto-ani-love.com/>

この機関紙は行政とボランティアが協働で作成しています。



京都動物愛護センター
マスコットキャラクター
京（きょう）ちゃん
令和4年度 夏号

京都動物愛護センター機関紙

愛ランド通信

—人と動物の共生を目指して—

LINE
スタンプ
第2弾
発売中

特集 私にもできる動物愛護活動

動物お悩み相談室

ワクチン接種って必要？

ペットのためのマナー&ルール

飼い主さん必見！

～猫の爪切りについて～

センターニュース

センター支所を見学しました！

インタビュー家族に迎えて

4頭の保護猫を迎えて

毎日が楽しくなりました！

特集 私にもできる動物愛護活動

近年、新型コロナウイルスによる外出自粛もあり、ペットショップで買ったり保護犬猫を飼う人も多くなりました。動物と暮らすことは私たちにたくさんの幸せと癒しをもたらしてくれます。そして動物たちは命の大切さや尊さを学ばせてくれる、大きな存在でもあります。

一方で、適正飼養ができていない結果、望まない命が増えてしまったり、飼育放棄されるようなケースや野良猫の鳴き声やにおい等でお困りの方がおられる地域もあります。

動物の命を守るためにはどのようなことができるのでしょうか。動物愛護活動（以下、「愛護活動」という。）に興味はあるけれど何ができるのかわからない、そう思われる方も多く、難しく思われがちな愛護活動ですが、保護活動からスマホひとつでできる活動まで、様々な分野に広がっています。今回は猫を保護した時の行動や、どのような愛護活動があるかをご紹介します。



▲保護されて元気に育っています

身近にできること

ひとことで愛護活動といっても、内容や考え方は人・地域・時代によって異なります。知人や友人に聞いたり、インターネットやSNSで情報を集めてみましょう。京都動物愛護センター(以下、「センター」という。)のホームページを見ると、ボランティア情報や講習会、イベントなど様々な情報が手に入ります。ちょっとした行動が動物の助けになることがあります。ぜひ自分も楽しみながらできそうなことを探してみてください。また、ふるさと納税やクラウドファンディングでの寄附は、簡単にスマホひとつでできる活動です。

活動内容

イベント参加

- ・譲渡会・お茶会
- ・ワークショップ

活動の場作り

- ・譲渡会・写真展
- ・寄付を募る
- ・グッズ製作

センターや施設への寄付

- ・タオル・ペットシーツ
- ・フード・寄付金

京都動物愛護センター マスコットキャラクター 都(みやこ)ちゃん

その他の活動

【地域猫活動】

最近少しずつ広まってきている活動のひとつに、地域猫活動があります。これは猫と人が共存するために、地域に住む野良猫に避妊・去勢手術をして、地域に住む活動者がその猫を大切に管理しながら見守る活動です。



▲そっと見守ってね

【預かりボランティア】

動物愛護団体等が保護した犬猫を新しい飼い主が決まるまで一時的な期間、自宅で飼育するボランティアです。家庭での生活を体験させ人に慣れさせて、譲渡先でスムーズに生活できるようにするためにも重要な役割になります。

【京都動物愛護センターでのボランティア活動】



▲お膝の上でリラックス

京都動物愛護センターでは毎年ボランティアを募集しています。動物舎の清掃や給餌などの日常的な世話や展示案内など来所者への対応、ドッグランなどの施設利用希望者への説明をします。その他、様々なイベントを企画するチーム活動などを通してボランティア同士の繋がりもでき、楽しく活動できます。

もしも野良猫を見かけたら

猫が好き、かわいそうだから助けたいという思いだけで無責任な餌やりをしてしまうと、猫が住み着きごみを荒らし、地域住民とのトラブルを引き起こすこともあります。実際に保護する際も、まずは自分自身の生活環境や経済状況、年齢など将来的に動物を飼い続けることができるのかを冷静に考える必要があります。もし不安がある場合は手を出さず見守ることも大切です。

まずは
どうしたらいいの?

オロオ



まず、迷い猫ではないか確かめる

迷子猫の場合、飼い主がいることを知らずに勝手に保護してしまうと、元の飼い主と思わぬトラブルに発展することがあります。行政機関への届け出を実施したうえで、可能であればインターネット上の迷子猫情報も確認しましょう。

子猫の場合、まずは保温

子猫は体温調節機能が未発達のため、寒さに弱いです。特に冬場は毛布を敷いたり湯たんぽや電気毛布を設置して、暖かい環境を作りましょう。

動物病院に連れて行って健康状態を確認する



保護した場合、動物病院で健康状態をチェックしてもらいます。元気に見えても怪我や病気の可能性もあります。また、マイクロチップが挿入されていないか確認してもらいましょう。

保護した後は

保護する際は自身で飼育できることが大前提ですが、もしも飼えない場合、新しい飼い主を探します。知人に尋ねたり、新しい飼い主を探す譲渡会に参加させてもらったりして、必ず最後まで飼育してもらえる家を探しましょう。保護先や新しい飼い主が見つかるまでは自宅での世話が必要です。自身が飼い主にならなくても、時間や費用が必要です。



無理なく楽しく

ここまで紹介してきたように、愛護活動はたくさんの人とさまざまな役割で成り立っています。そして何より継続することがとても重要になります。

愛護活動と聞くと重く大変なことのようになってしまうがちですが、できるだけ多くの人達と役割分担をしていけば、自身の負担を減らし多くの犬猫を助けることにしっかりつながっていくと思います。

そして同じ価値観を持ったたくさんの人たちとの出会いにもつながります。“楽しく続けられる身近な動物愛護”をモットーに自分にできそうなことを探してみてください。たくさん動物たちが待っています。(Y. K.)



ワクチン接種って必要?

ワクチン接種って必要?

接種することで感染の予防や重篤化を防ぐ効果が期待できます。感染してしまうと下痢や嘔吐、発熱などの症状の他に、後遺症が残るものもあります。大切な家族の健康を守るためにもワクチンによる予防は大切です。また、トリミングサロンやドッグラン等ではワクチン接種が義務付けられている施設もあります。

ワクチンの種類は?

大きく分けて2つ、狂犬病ワクチンと混合ワクチンがあります。

狂犬病ワクチンは生後9日以降のすべての犬に対して毎年接種することが法律で義務付けられています。

混合ワクチンは、致死率の高い感染症を防ぐための「コアワクチン」と、飼育環境によって接種を推進されている「ノンコアワクチン」に分類されます。



▲センター保護犬のさくら(左)とロン(右)

種類	予防できる感染症	3種	5種	6種	8種	10種
コアワクチン	犬ジステンパー感染症	○	○	○	○	○
	犬パルボウイルス感染症		○	○	○	○
	犬伝染性肝炎	○	○	○	○	○
	犬伝染性喉頭気管炎	○	○	○	○	○
ノンコアワクチン	パラインフルエンザ感染症		○	○	○	○
	コロナウイルス感染症			○	○	○
	レプトスピラ感染症				2株	4株

▲混合ワクチンの種類

ワクチン接種の際に気を付けること

嘔吐や下痢、顔の浮腫みや腫れなどの副反応を起こすことがあります。接種当日は様子を見て、激しい運動などは避けて安静に過ごしましょう。異変を感じた場合すぐに病院へ行けるように、午前中に接種することをお勧めします。

(M. K.)

ペットのためのマナー&ルール

飼い主さん必見!

～猫の爪切りについて～

猫の飼い主さんにとって、難関と言われるお世話の一つ、爪切り。嫌がって暴れたり、深く切ってしまって血が出たり…。飼い主さんが苦労する作業ですよ。

「うちの子は爪とぎをしているから大丈夫!」と思われるかも知れませんが、爪とぎは古い爪の層を剥がすだけなので、爪は鋭いまです。巻き爪によって肉球が傷つくのを避けるためにも、定期的な爪切りが重要です!(H. M.)

まずは
獣医さんで
相談にや!



センター支所を見学しました!

センターのボランティアスタッフは、幅広い視点で動物愛護の考えができるように関連施設の見学を実施しています。この度、西京区のセンター支所を訪問しましたので、その時の様子を報告します。

支所でも保護犬・猫の管理が実施されており、当日は施



▲支所の外観



▲見学後のボランティア交流会の様子

設内部の見学とともに設立の経緯、収容される動物やセンターと支所の設備の違い、連携して活用するための工夫などのお話を伺いました。

見学後の交流会では、「保護犬・猫の現状を周りの人に伝えたい」「ボランティア卒業後の活動の参考になった」といった意見があり、とても有意義な時間を過ごすことができました。